



平成 28 年 4 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社麒麟堂ホールディングス  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 寺 西 豊 彦  
社 長 執 行 役 員  
(コード番号 3194 東証第一部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 小 林 剛 久  
経 営 企 画 部 長  
(TEL. 06-6394-0100 (代表))

平成 28 年 2 月期通期業績予想の修正ならびに  
特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 4 月 14 日に公表しました「平成 28 年 2 月期（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）」の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 27 年 4 月 14 日)	109,500	2,250	2,710	870	76.78
今回修正予想 (B)	112,902	1,699	2,320	826	72.94
増 減 額 (B-A)	3,402	△550	△389	△43	
増 減 率 (%)	3.1	△24.5	△14.4	△5.0	
(参考) 前期連結実績 (平成 27 年 2 月 期)	108,033	952	1,437	619	54.68

2. 修正理由

現在、当社グループは「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」を社会的インフラとして確立するため、日常生活における利便性の提供と未病対策・セルフメディケーションの支援のほか、かかりつけ薬局の推進に努めるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。

当連結会計年度におきましては、当社グループの中核企業である株式会社麒麟堂が、既存店活性化対策として、顧客化の推進、集客を目的とした食品（特に、冷凍食品、日配品）の売場改装を実施したほか、調剤売上高の拡大に努めてまいりました。

また、ヘルス&ビューティケア商品のコンサルティング販売、PB商品の積極的な展開と販売強化などによる粗利率向上に努めてまいりました。

結果、調剤の伸長に加え、購買頻度の高いハウスホールド商品・食品を軸とした集客対策の効果により、売上高は前回発表を上回る見通しとなりました。

利益については、(1)株式会社キリン堂において、下半期は上記諸施策の効果発現により好調に推移したものの、上期計画未達分をカバーするまでには至らないこと、(2)連結子会社において、案件の実施時期のずれが生じたこと、中国で展開する小売店舗の不振等により、営業利益・経常利益・当期純利益いずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

### 3. 特別損失の内容

「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、当社連結子会社が所有している店舗設備等の一部について減損損失3億58百万円を計上するほか、店舗の閉店による店舗閉鎖損失13百万円などを計上する見込みであります。

以上により、通期の連結業績におきまして3億86百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

- (注) 1. 当社(連結)は、平成28年4月14日に通期決算発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上